

英語科 学習指導案

〇〇〇〇立〇〇〇中学校
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1. 日 時 平成〇年〇月〇日 (〇) 第〇時限 〇時〇分～〇時〇分
2. 場 所 第3学年〇組教室
3. 学年・組 第3学年〇組 (〇名)
4. 単元名・使用教科書等
Unit 5 Electronic Dictionaries---For or Against 東京書籍 *NEW HORIZON English Course 3*
5. 単元目標
- ・まとまった英文を読んで、書き手の意見を批判的に読み取る。
 - ・大切な部分に線を引くなどして、繰り返して読んだり、読み返したりして読み続ける。
 - ・分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。
 - ・間接疑問を用いた文の構造を理解している。

【読むこと (オ)】話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。 (中学校学習指導要領 外国語編)

6. 教材観
- 本単元は、一郎がインターネットの掲示板で電子辞書についての意見を求めたところ、6名の意見が返ってきた。3名は電子辞書を支持する意見であり、2名は紙の辞書を支持している。最後の1名は、中学生はまず紙の辞書を利用し、しかる後に電子辞書を利用すべきという意見である。相手の意見を読み取り、自分の意見を述べる際の重要な表現も用いられている。

7. 生徒観 (略)

8. 指導観
- 相手の意見を読み取り、自分の意見を述べる際の表現も意識しながら、書かれた意見に即しての自分の感想や賛否、その理由を示して、書き手の意向を読み取る力を養う。

9. 単元の評価規準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
①さまざまな工夫をして、繰り返し読んだり読み返すなど、読み続けている。	※この単元では評価規準を設定しない。	①まとまった英文を読んで、書き手の意見を批判的に読み取ることができる。	①分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。 ②間接疑問を用いた文の構造を理解している。

10. 本課（本単元）の指導と評価の計画（全5時間）

時	生徒が学習する内容	主な評価規準と評価方法
第1時 (本時)	○本課で身につける技能や大まかな内容を知る。 ・電子辞書と紙の辞書、それぞれの便利な点について意見を述べ合う。 ○本課で身につける文の構造を理解する。 ・現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を知る。 ・現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文を使えるように練習し、理解する。	D-①【知識・理解】 後日ペーパーテスト
第2時	○教科書本文(Dialog)を読み、一郎とブラウン先生の考えを読み取る。 ・新出語句、連語等の意味や発音を確認。 ・間接疑問を用いた文の構造を理解する。 ・本文を黙読し、話題をつかむ。 ・再度黙読し、一郎とブラウン先生の考えやその理由が示されている部分を見つける。	D-②【知識・理解】 後日ペーパーテスト
第3時	○教科書本文(Reading for Communication)を読み、インターネット掲示板に書き込まれたそれぞれの考えやその理由について理解する。 ・考えやその理由が示されている部分に線を引きながら、読み進める。 ・賛否がわかる表現を確認し、それぞれの辞書を支持する理由を確認し整理する。	A-①【関心・意欲・態度】 活動の観察 C-①【理解の能力】 後日ペーパーテスト
第4時	○教科書本文の6人の意見に対して、自分はどう思うか述べ合う。 ・英語や日本語で、自分の感想や賛否、その理由などを自分の意見として伝える。	C-①【理解の能力】 後日ペーパーテスト
第5時	○教科書とは別の説明文を用いて、本課で学んだ方法を用いて、重要な部分を読み取る。 ・本文を黙読し、話題をつかむ。 ・再度黙読し、考えやその理由が示されている部分を見つける（線を引きながら読む）。 ・自分の感想や賛否、その理由をまとめる。 ・自分の感想や賛否、その理由を発表する。	A-①【関心・意欲・態度】 活動の観察 C-①【理解の能力】 後日ペーパーテスト

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・本課の大まかな内容を理解する。
- ・現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解する。

(2) 本時の評価規準

- ・分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。

(3) 本時の学習過程

時間	生徒の学習活動	指導内容及び指導上の留意点	評価規準及び評価方法
3分	○あいさつをする T: Good morning, class. Ss: Good morning, Mr. (Ms.) ○○. T: How are you? Ss: Fine thank you, and you? T: Pretty well, too , thank you. What day of the week is it today? Ss: Wednesday. T: How do you spell Wednesday? Ss: W-e-d-n-e-s-d-a-y. T: Good! What's the date today? Ss: It's October 9th.	○英語でのあいさつを通じ、英語授業の雰囲気高める ・元気よく、しっかり声が出るようにする。 ・簡潔にあいさつを済ませる。 ・生徒全体を観察して生徒の様子を確認する。 ・必要に応じて個別生徒に質問する。 ・本日の日付を板書する。 Wednesday, October 9th	
導入 7分	○分詞の後置修飾の導入 ・教員の英語を聞いて、シルエットが何かを答える。 T: Look at the screen. What is this(that)? Can you guess? S1: I don't know. Hint, please! T: This(That) is a food. It is made from cacao beans. What is it? Ss: Chocolate! T: Yes. It is chocolate. <u>Chocolate is a food made from cacao beans.</u> OK, here is the next question. This(That) is a large animal. It lives on land. It is the largest animal living on land. What is it? Ss: Elephant! T: That's right. It is an elephant. <u>An Elephant is the largest animal living on land.</u>	○シルエットを示し英語で問いかける ・生徒の状況によりシルエットのわかりやすさを調整する。 ・必要に応じて質問を繰り返すなどして、何を問うているのかを気づかせる。 ○ターゲットセンテンスを板書 ・左記の下線の文を板書。 ・左に現在分詞、右に過去分詞。 ・板書とともにシルエットの実物の絵（写真）を掲示。	

(次ページに続く)

展開 25 分	○同様に質問に答える ・下記の英文による質問に答える。 This is a language spoken in the USA. This is a sport played all over the world. This is the largest animal living in the sea. This is a right fielder playing for the New York Yankees. ○後置修飾の意味を確認 ・板書の後置修飾の句の意味を日本語で確認。 ○発音練習 ・句単位で発音練習。 ・文単位で発音・音読練習。 ○黒板のターゲットセンテンスの違いを考える ・左の例文（現在分詞を使ったもの）と右の例文（過去分詞を使ったもの）の違いを考える。 ・単独での修飾と比較する。 a running boy a printed dictionary ○構文練習 ・学習指導ツール補助単元別プリント No. 3bt007～010 を活用して練習する。	○さらに英文を板書、絵（写真）掲示 ・ターゲットとする句の意味を日本語で確認する。 ○発音・音読練習 ・後置修飾のかたまりを意識させながら句単位で発音練習を行う。 ・リズムをつけて行う。 ・全体、列ごと、ペア、速く、ゆっくりなどバリエーション豊かに。 ・句単位に慣れたら、文全体の発音練習。意味を考えながら。 ○分詞の後置修飾に気づかせる ポイント ・修飾と被修飾の関係（名詞が特定されるということ。 ・名詞との関係で動作が主体的なら現在分詞、受け身的なら過去分詞。 ・句になった場合、修飾される名詞のすぐ後ろに分詞がくる（単独なら名詞の前－絵と例〔左記〕を掲示）。	
まとめ 15 分	○電子辞書と紙の辞書のどちらが便利か考える T: Which do you think is more useful, an electronic dictionary or a printed dictionary? And why? ・電子辞書派と紙の辞書派に分かれて便利理由を出し合う。 ○本時に学習した事項の確認 ・ノートに分詞の後置修飾のポイント（3点）をまとめその事項を活用した文をひとつずつ作文する。 ○宿題 ・学習指導ツールのワークブック Step1～4。	○電子辞書と紙の辞書の絵を掲示 ・左記の質問を問いかけ、それぞれの派に分かれ、便利理由を出させて、黒板に記載。日本語でも英語でもよい。 ・次時以降の授業につながることを示す。 ○ノートを回収 ・ノートの記述内容を授業後、確認したうえで、生徒の理解度を確認する。 ○宿題の提示	